



TITLE:

太陽觀測

AUTHOR(S):

三澤, 勝衛

---

CITATION:

三澤, 勝衛. 太陽觀測. 天界 1925, 5(57): 389-393

ISSUE DATE:

1925-09-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/160298>

RIGHT:

太陽觀測 (1924年12月分)  
(Observation of Sun-spots)

December

三澤勝衛  
(by K. Misawa)

日	黒點群	黒點數	大黒點數	白紋	備考
1	1	1	1	3	{黒點は先月末の續き白紋1は西側南の高緯度1は東側南の高緯度
2	0	0	0	2	{白紋1は西側昨日の續き1は東側北の高緯度、昨日までの黒點群本日は西端に没しなし
3	1	5	0	1	{新黒點中央子午線のやゝ西方に突發、白紋は東方昨日の續き
4	1	2	0	0	
5	1	1	0	0	
6	—	—	—	—	缺
7	1	1	1	1	{新黒點群白紋を伴ひ、東端中緯度に出現、3日突發のもの途中に於て消失し本日はなし(觀測者河西君)
8	1	1	1	2	白紋1は東方黒點群の圍に1は西方に
9	1	2	1	0	
10	1	8	3	0	
11	1	8	3	0	
12	2	9+1=10	4+1=5	1	{新黒點群本日東端北の中緯度に出現、白紋は新黒點群1圍にあり7日出現の黒點群本日中央子午線通過
13	2	6+2=8	3+2=5	1	昨日の續き
14	2	8+2=10	1+2=3	1	昨日の續き(觀測者河西君)
15	2	1+2=3	1+2=3	2	白紋は各黒點群の圍にあり(觀測者同上)
16	—	—	—	—	曇り
17	1	3	2	0	{12日中央子午線通過のもの西端近にて消失し本日はなし(觀測者河西君)
18	1	9	2	0	12日出現の黒點群本日中央子午線通過(觀測者河西君)
19	1	16	4	0	(觀測者同上)
20	1	9	2	1	白紋は西端北の中緯度(觀測者三澤)
21	2	12+17=29	3+0=3	0	{新黒點群中央子午線のやゝ東方南中緯度に突發(觀測者河西君)
22	2	9+20=29	2+3=5	1	{白紋は西方黒點群の圍に昨日突發のもの本日中央子午線通過(觀測者同上)
23	2	9+8=17	3+2=5	1	白紋は西端黒點群の圍にあり
24	2	1+5=6	0+2=2	2	白紋は各黒點群の圍にあり
25	2	1+3=4	0+2=2	2	昨日の續き
26	—	—	—	—	曇
27	0	0	0	3	{1昨日までの黒點群何れも西端に没す白紋中2は西端にあり1昨日までの黒點群の後身1は東方北の高緯度
28	1	1	0	1	新黒點群白紋に圍まれ西端近くに突發、白紋の1は東端
29	—	—	—	—	曇
30	—	—	—	—	曇
31	1	2	0	1	{新黒點中央子午線附近北の高緯度に發見白紋は西側南の高緯度にある

黒點群の南半球よりも北半球に多きは先月と同様なれども其數一般に先月よりも少なし

## January (1925年1月分)

日	黒 點 群	黒 點 数	大 黒 點 数	白 紋	備 考
1	0	0	0	1	{白紋西方、先月末の續き昨日突發の黒點群本日は消失してなし
2	1	3	0	1	本日東端低緯度に新黒點群出現
3	1	1	0	1	
4	0	0	0	0	2日出現の黒點群本日消失
5	—	—	—	—	缺
6	0	0	0	0	
7	0	0	0	1	白紋は東方北の高緯度
8	0	0	0	1	白紋西方低緯度
9	—	—	—	—	曇
10	0	0	0	1	白紋東方北の高緯度にあり大規模
11	0	0	0	2	何れも東方、1は昨日の續き1は低緯度
12	0	0	0	2	白紋は昨日の續き
13	0	0	0	3	2は東方昨日迄の續き1は西方南の高緯度
14	1	1	0	2	{1小黒點の中緯度西端近に突發、白紋の1つは東方北の高緯度、1つは西方南の高緯度
15	0	0	0	1	{昨日突發の黒點群本日消失してなし、白紋は東方昨日の續き
16	1	2	0	4	{新黒點群東方北の高緯度に突發昨日までの白紋中に發生せるもの、他の3白紋中1は東方北の高緯度2は西方その中、1は北1は南の高緯度にあり
17	1	1	0	1	白紋は西方南の高緯度昨日の續き
18	1	1	0	1	{16日突發の黒點群は消失し新小黒點群西端低緯度に突發白紋は西端昨日の續き
19	2	2+9=11	0+0=0	1	{小黒點9個よりなる新黒點群北の高緯度中央子午線のやゝ西方に突發白紋は西方第一黒點群の周圍にあり
20	—	—	—	—	缺
21	1	9	3	2	{19日の第1群本日は白紋のみとなる他の白紋は東方北の高緯度
22	2	5+1=6	3+0=3	8	{東側低緯度に小黒點突發、白紋何れも西方1は黒點群の圍にあり
23	1	7	0	1	{昨日突發の第2黒點群本日消失す白紋は西端黒點群の圍にあり
24	1	2	1	1	凡て昨日の續き
25	0	0	0	1	昨日までの黒點群西端近にて消失し白紋のみとなる
26	—	—	—	—	曇
27	0	0	0	1	白紋東方北の高緯度
28	1	1	0	1	1小黒點東方高緯度に突發昨日の白紋中に發生せるもの
29	—	—	—	—	曇
30	—	—	—	—	雪後曇
31	0	0	0	1	{白紋は東端低緯度、28日突發の黒點群既に消失し本日はなし

本月は先月よりも亦更に靜謐なるが如く、こゝに出現の黒點の其壽命何れも短命なるは注意すべし

February (1925年2月分)

日	黒 點 群	黒 點 數	大 黒 點 數	白 紋	備 考
1	2	$2+1=3$	$0+0=0$	1	{ 2 黒點群突發 1 は中央子午線のやゝ西方南の緯度に 1 は東端北の高緯度にして白紋を伴ひ昨日の白紋中に發生せしもの
2	3	$2+1+4=7$	$0+0+0=0$	2	{ 4 小黒點よりなる 1 群中央子午線の西方北の高緯度突發 白紋 1 は西方北の緯度に 1 は東端黒點群の圍にあり
3	2	$2+6=8$	$0+0=0$	0	1 日東端に突發せし黒點群本日は消失しなし
4	1	1	0	2	{ 1 日中央子午線の西方に突發の黒點群消失、白紋 1 は西端黒點群の圍 1 は東側南の中緯度
5	1	7	0	1	{ 2 日突發の黒點群消失し白紋のみとなり、其のやゝ後方に新黒點群突發
6	—	—	—	—	雪及雨
7	—	—	—	—	曇
8	3	$1+12+4=17$	$0+0+1=1$	3	{ 12 の小黒點よりなる新黒點群子午線附近北の中緯度に發見、大黒點を中心せざる新黒點群東の低緯度に發見多分昨日出現のもの、白紋は東端北の高緯度及兩端第一黒點群の圍にあり
9	2	$15+8=23$	$0+1=1$	1	{ 5 日突發の黒點群本日は西端に没しなし、白紋は東端黒點群の圍にあり昨日突發の第 1 群本日中央子午線通過
10	3	$7+4+2=13$	$2+1+0=3$	3	{ 2 小黒點よりなる新黒點群白紋を伴ひ東方北の高緯度に突發、白紋の 1 は東端北の高緯度
11	3	$5+4+1=10$	$1+1+0=2$	2	凡て昨日の續き
12	2	$2+4=6$	$1+1=2$	0	10 日突發の群消失
13	3	$2+10+2=14$	$1+1+0=2$	4	{ 2 小黒點よりなる新群東方北の高緯度に突發、8 日東端に發見の黒點群本日中央子午線通過白紋は西端黒點群の圍にあり
14	2	$1+11=12$	$1+2=3$	1	白紋は西端黒點群の圍にあり
15	2	$21+4=25$	$1+0=1$	0	{ 4 小黒點よりなる新群中央子午線附近北の高緯度に突發 10 日突發のもの、復活なるが如し、8 日發見のもの西端に没し本日はなし
16	2	$8+2=10$	$1+0=1$	0	
17	2	$7+1=8$	$2+0=2$	2	{ 白紋何れも西方 1 は西端第 1 黒點群の圍に 1 は北の高緯度
18	1	5	3	3	{ 15 日突發の黒點群消失し白紋のみとなる其の他の白紋中 1 は西端黒點群の圍に 1 は東端北の高緯度に
19	—	—	—	—	曇
20	1	4	2	2	{ 7 日出現のもの西端にて白紋のみとなり新黒點群西方南の中緯度に突發、白紋何れも西端 1 は北の中緯度 1 は南の高緯度
21	1	5	1	2	白紋 1 は東方南の高緯度 1 は西方北の中緯度
22	1	2	0	3	雲を透して觀測
23	2	$1+2=3$	$0+0=0$	1	新黒點群西方北の高緯度本日突發白紋は東方北の高緯度
24	0	0	0	2	{ 昨日突發の群本日消失す、20 日突發の黒點群次第に衰へ本日は西端にて白紋のみとなる、白紋の 1 は東端昨日の續き
25	—	—	—	—	曇
26	—	—	—	—	曇
27	0	0	0	0	
28	0	0	0	0	

本月に至り太陽や、活動を初めたるも尙短命なるもの少なからず、而して優勢なるものは主として南半部にあり

March (1925年3月分)

日	黒 點 群	黒 點 數	大 黒 點 數	白 紋	備 考
1	1	2	0	0	新黒點群中央子午線の西方南の中緯度に突發
2	1	4	0	1	白紋は東方北の中緯度
3	1	3	0	2	白紋1は東端北の中緯度
4	1	1	0	1	白紋は黒點群の圍に
5	2	1+2=3	0+0=0	2	{2小黒點よりなる新黒點群西端北の中緯度に突發 白紋は何れも西各黒點群の圍に
6	0	0	0	2	{各黒點群は共に西端にて消失、白紋、1は西方南 1は東 方北の高緯度
7	—	—	—	—	雪
8	0	0	0	1	白紋東端南の高緯度(觀測者河西君)
9	0	0	0	1	白紋東方(觀測者河西君)
10	0	0	0	1	白紋東方北の高緯度
11	0	0	0	1	白紋東方低緯度
12	1	9	0	2	{新黒點白紋を伴ひ東端近く南の低緯度に突發、或は昨日 の白紋中に發生せしものならん他の白紋は西方
13	1	10	1	1	白紋は東方北の高緯度
14	1	7	4	1	凡て昨日の續き
15	—	—	—	—	雨
16	1	11	2	1	白紋東方北の高緯度
17	2	3+1=4	1+0=1	0	{1小黒點よりなる黒點群本日西側北の中緯度に出現 12日突發の黒點群本日中央子午線通過
18	2	17+3=20	1+0=1	2	{白紋は共に西方1は昨日突發の黒點群の圍に1は南の中 緯度
19	3	9+2+1=12	1+0+0=1	2	{1小黒點よりなる群第1群の更に南方に突發、白紋は昨 日の續き
20	3	7+1+2=10	1+0+0=1	2	{17日突發の黒點群西端に於て白紋のみとなり2小黒點よ りなる新黒點群中央子午線附近南の低緯度に突發、白紋 何れも西方昨日の續き
21	2	2+2=4	1+0=1	2	{昨日突發の黒點群本日消失、白紋1は西方第2黒點群の 圍に1は東方南の高緯度
22	2	1+2=3	1+0=1	3	白紋2は西方各黒點群の圍に1は東方昨日の續き
23	0	0	0	1	{昨日までの黒點群何れも本日は西端に没す、白紋は東方 北の高緯度
24	0	0	0	0	(觀測者河西君)
25	1	8	0	1	新黒點群東方北の高緯度に突發、白紋西端北の高緯度
26	2	8+2=10	0+0=0	1	新黒點群西端北の高緯度白紋中に突發
27	1	9	1	0	{26日突發のもの本日西端に没す25日突發のもの本日中央 子午線通過
28	1	25	2	0	
29	1	14	4	0	
30	—	—	—	—	曇
31	1	9	4	1	白紋は黒點群の圍にあり(觀測者河西君)

三八

太陽の活動狀態 2月と大差なきが如くなれども下旬に及び其の活動北半部に移れるが如し

April (1925年4月分)

日	黒 點 群	黒 點 數	大 黒 點 數	白 紋	備 考
1	1	5	3	1	3 月末の續き (觀測者河西君)
2	0	0	0	0	(觀測者同上)
3	1	1	1	1	{新黒點群白紋を伴ひ、東端南の高緯度に出現 (觀測者同上)
4	—	—	—	—	雨
5	—	—	—	—	曇
6	2	1+4=5	0+0=0	1	新黒點群白紋を伴ひ東端近き北の中緯度に突發
7	2	1+5=6	0+0=0	0	
8	—	—	—	—	雨
9	2	1+1=2	0+0=0	2	{7 日迄の 2 黒點群途中にて消失し 2 個の新黒點群白紋を 伴ひ東端近く突發1は南の高緯度に1は北の高緯度にあり
10	2	4+1=5	0+0=0	0	
11	4	20+1+8 +1=30	0+0+0 +0=0	1	{8 個よりなる新黒點群は西方北の中緯度に突發し白紋を 伴ふ 1 個よりなる新黒點群東端近き北の高緯度に突發す
12	—	—	—	—	雨
13	4	10+1+1 +1=13	1+0+1 +0=2	3	{9 日南の高緯度に突發の黒點群本日消失し、白紋を伴ひ 1 小黒點よりなる新群東端北の中緯度に出現、9 日突發 の 1 群本日中央子線通過、2 個の白紋中 1 は西 1 は東何 れも北の高緯度にあり
14	3	14+1+1 =16	2+1+0=3	2	{11 日西側に突發のもの西端に没し白紋のみとなり他の東 端に突發のもの中央子午線通過、白紋の 1 は東端黒點群 の圍にあり
15	4	5+1+1 +2=9	2+1+0 +0=3	0	新黒點群子午線の東方北の高緯度に突發
16	4	2+1+1 +2=6	1+0+0 +0=1	1	{昨日突發の群本日中央子午線通過白紋は西端黒點群の圍 にあり
17	5	2+1+6+1 +2=12	1+0+0+0 +2=3	3	{新黒點群白紋に圍まれ東端南の高緯度に出現、他の白紋 2 個は何れも北の高緯度にあり 1 は西端黒點群の圍に 1 は東端にて單獨、13 日出現のもの本日中央子午線通過
18	4	1+1+7 +1=10	0+0+5 +0=5	3	{9 日突發の群西端に没し白紋のみとなり、新黒點群白紋 を伴ひ東端に突發、白紋中他の 1 は東端第 3 群の圍にあ り
19	5	1+13+1 +1+1=20	0+4+0 +0+0=4	4	{昨日までの第 1 群西端に移り白紋のみとなり新黒點群は 東方北の高緯度及東端北の中緯度に出現、白紋中 2 は東 端各黒點群の圍に 2 は單獨にて西端南北各高緯度にあり
20	5	4+13+1 +3+1=22	0+4+0 +0+0=4	3	白紋中 1 は西 2 つは東何れも黒點群の圍にあり
21	—	—	—	—	曇
22	—	—	—	—	雨 18 日突發の黒點群本日中央子午線通過の筈
23	—	—	—	—	雨
24	1	8	3	0	{11 日突發のものは西端に没したるべく他の 17. 18. 19 の 各日の新黒點群は何れも途中に於て消失す
25	2	13+2=15	2+0=2	2	{新黒點群白紋を伴ひ西端近く北の高緯度に突發、或は數 日前に消失せるものゝ再現か、白紋の 1 は單獨にて東方 南の高緯度にあり
26	—	—	—	—	雨
27	1	2	1	3	{25 日突發のものは白紋のみとなる他の白紋 2 個は單獨に て東端南の高緯度にあり
28	—	—	—	—	曇
29	—	—	—	—	雨
30	—	—	—	—	雨後曇

太陽は甚しく活動を始む、しかも本月は主として北半球の比較的高緯度 (30°-40°) に偏す  
而して短命なるもの尙少からず